

## 8. 黒色土の母材は何

黒色土は一般に黒土と呼ばれています。黒い色は腐植の色です。黒い土は一般に肥沃であることが多くあります。しかし、黒色土の黒土は肥沃ではありません。材料が火山灰だからです。

岩手県の北上山地にも黒色土が広く分布しています。この土壤の材料が火山灰であることを最初に発表し認められました。火山灰であることの特徴は火山ガラスといわれる鉱物が含まれていることです。火山灰母材の土はリン酸吸収係数が大きいことも特徴です。火山灰は起源の東方に降灰します。火山灰が成層圏まで達すると、地球上をまわることになります。

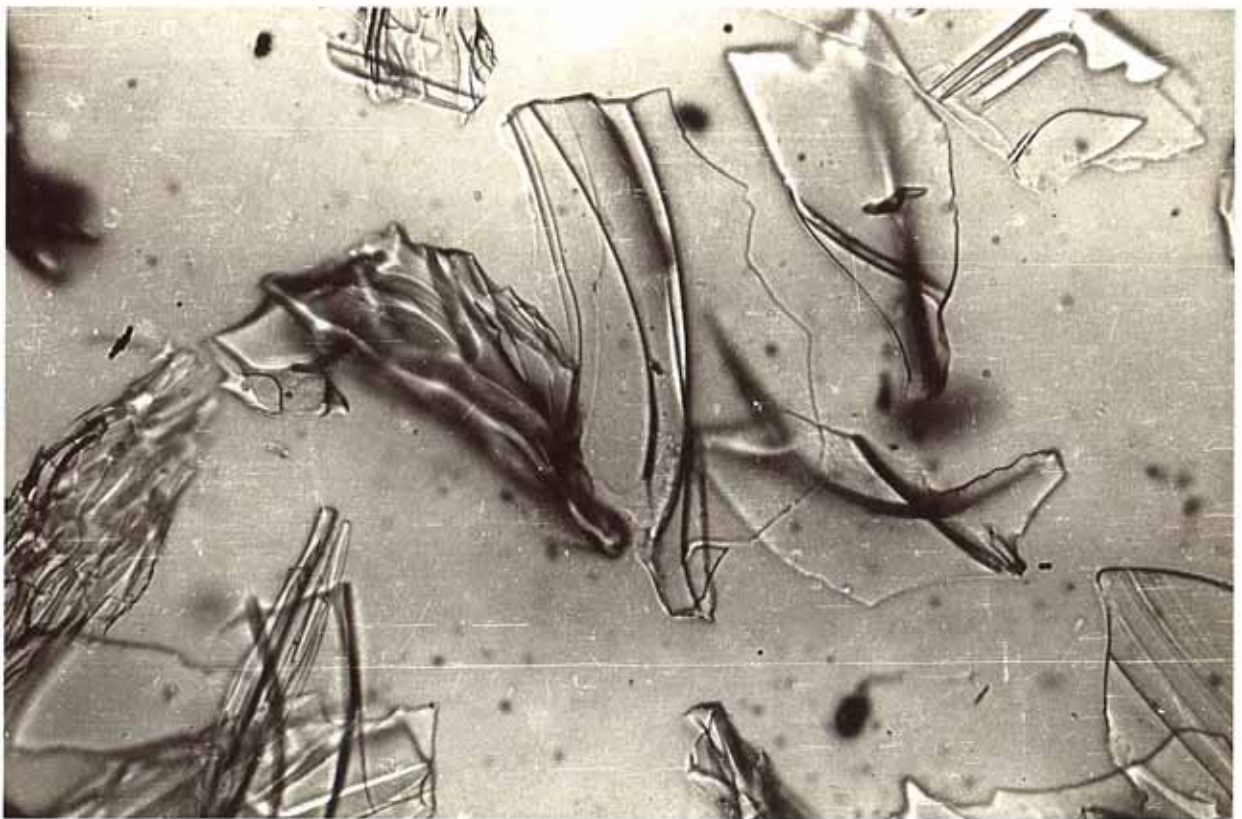
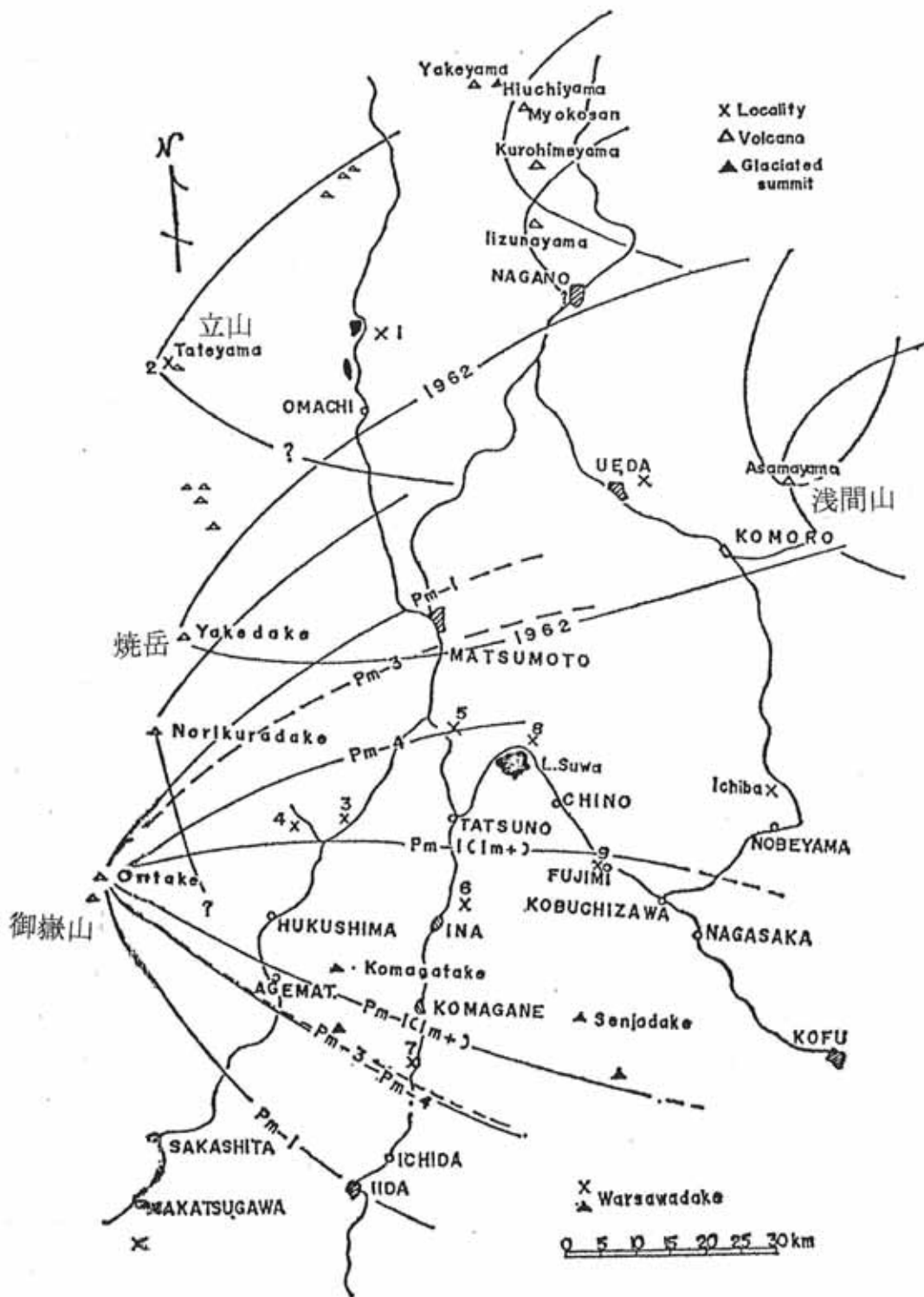


写真1 火山ガラス（偏光顕微鏡：260倍）

火山ガラスは非晶質の物質です。風化してアロフェンが生成されるといわれています。



Xはテフラ試料採集地点、数字のあるものは第2図の断面図に対応、△は火山、▲は氷蝕された山、1962は1962年6月17日の焼岳小噴火の際の降灰地域 (第四紀研究：テフロクロノロジー特集号 1963)

図8 中部地方のtephra分布図

火山灰は基源の東方に放物線を描く形で降灰します。灰が成層圏にまで達すると地球上をまわることになります。